

SHOWA  
DENKO

東京都下水道局施設管理部  
コンクリート改修技術マニュアル  
(センター・ポンプ所編)対応

コンクリート  
防食被覆工法

ショウゼット®

下水道施設用

本製品は、JCQAによりISO9001認証された事業所により管理されています。

SHOWA DENKO KENZAI K.K.



# ショウゼット® 工法

# 東京都下水道局施設管理部コンクリート

## 断面補修用耐硫酸性ポリマーセメントモルタル

# ショウクイック®

ショウクイック®は、下水道施設用および各種コンクリート構造物の改修工事において耐硫酸性に優れた断面修復材です。

### 特長

- 高炉スラグ系粉体及び特殊繊維を配合した耐硫酸性に優れたポリマーセメントモルタルです。
- 粉末樹脂混入タイプの一材化製品です。
- 東京都下水道局施設管理部コンクリート改修技術マニュアル（センター・ポンプ所編）断面修復材の要求性能指標対応しています。

### 性能試験データ

試験項目		品質規格		試験結果	試験規格
				ショウクイック®	
曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> )	材齢	3日	3.0以上	8.0	東京都下水道局施設管理部 コンクリート改修技術マニュアル (センター・ポンプ所編)断面修復材の 要求性能指標適合
		28日	7.0以上	10.7	
圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )	材齢	3日	25以上	49	
		28日	45以上	86	
接着性 (N/mm <sup>2</sup> )	材齢28日	1.5以上	2.9		
長さ変化率 (%)	材齢28日	-0.1以上	-0.08		
耐酸性 [重量変化率 (%)]	浸漬28日	±10以内	+9		
硫酸浸透深さ (mm)	浸漬28日	3.0以下	3.0		

※詳細は試験成績書を参照ください。

### 用途

【各種コンクリート構造物の改修工事における躯体断面修復材として】

- 下水道処理施設、農業、漁業集落排水処理施設、し尿処理施設関連の改修工事。
- 厨房除害施設、排水処理施設等の各種水槽改修工事で耐硫酸性が要求される工事。

**注意** 上記以外の用途でご使用される場合は、事前に当社にご相談ください。

### 使用材料

#### ■プライマー 荷姿・標準施工面積

品名	荷姿	標準使用量	標準施工面積
ARプライマー (アクリル系)	4kg/缶	0.03kg/m <sup>2</sup> ※	133m <sup>2</sup>
	18kg/缶		600m <sup>2</sup>

※水を添加する前の使用量です。調合後は0.1kg/m<sup>2</sup>が標準塗布量となります。



ARプライマー  
4kg

ARプライマー  
18kg

#### ■粉体 荷姿

品名	荷姿
ショウクイック® (粉体)	25kg/袋



ショウクイック®

#### 標準施工面積

配合比	ショウクイック®	水	練り上がり量	標準施工面積
1袋あたり	25kg	約3.9kg	約14リットル/袋	1.4m <sup>2</sup> (10mm厚)

# 改修技術マニュアル対応工法ラインナップ

## コンクリート防食被覆工法

# ショウゼット<sup>®</sup> ノンクロス工法

東京都下水道局施設管理部コンクリート改修技術マニュアル(センター・ポンプ所編)塗布型ライニング工法の要求性能指標C種、D<sub>1</sub>種品質規格対応

### 特長

- ノンクロス仕様により、一般的なエポキシ樹脂+補強層仕様と比べ工期短縮が可能です。
- 厚塗り可能なエポキシ樹脂を使用する事で、塗膜厚さを確保できます。
- 有機酸・無機酸の作用を受けるコンクリート構造物の防食被覆工法。

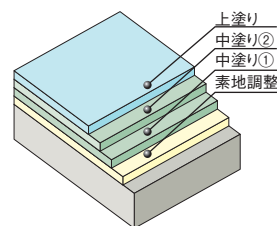
### C種対応

#### ショウゼット<sup>®</sup> ノンクロスT-C工法

工程	使用材料	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	施工方法	硬化後設計厚さ
素地調整※	ショウゼット <sup>®</sup> SA-T	1.0	金コテ等	—
中塗り	ショウゼット <sup>®</sup> NC	0.4	金コテ等	0.7mm以上
中塗り	ショウゼット <sup>®</sup> NC	0.3	金コテ等	
上塗り	ショウゼット <sup>®</sup> NCToppコート	0.2	ローラー等	

※素地調整 エポキシエマルジョン系ポリマーセメントモルタル

(積層図)



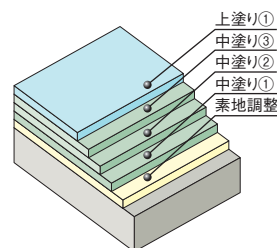
### D<sub>1</sub>種対応

#### ショウゼット<sup>®</sup> ノンクロスT-D工法

工程	使用材料	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	施工方法	硬化後設計厚さ
素地調整※	ショウゼット <sup>®</sup> SA-T	1.0	金コテ等	—
中塗り	ショウゼット <sup>®</sup> NC	0.5	金コテ等	1.3mm以上
中塗り	ショウゼット <sup>®</sup> NC	0.5	金コテ等	
中塗り	ショウゼット <sup>®</sup> NC	0.4	金コテ等	
上塗り	ショウゼット <sup>®</sup> NCToppコート	0.2	ローラー等	

※素地調整 エポキシエマルジョン系ポリマーセメントモルタル

(積層図)



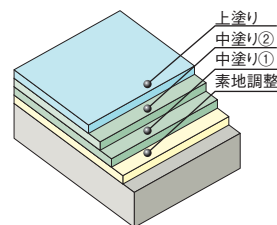
### C種対応

#### ショウゼット<sup>®</sup> NCY(T)-C工法

工程	使用材料	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	施工方法	硬化後設計厚さ
素地調整※	ショウゼット <sup>®</sup> SA-T	1.0	金コテ等	—
中塗り	ショウゼット <sup>®</sup> NCY	0.5	金コテ等	0.7mm以上
中塗り	ショウゼット <sup>®</sup> NCY	0.5	金コテ等	
上塗り	ショウゼット <sup>®</sup> NCYトップコート	0.2	金コテ等	

※素地調整 エポキシエマルジョン系ポリマーセメントモルタル

(積層図)



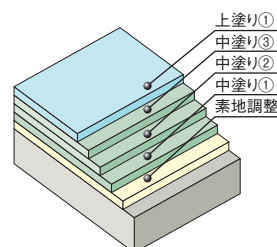
### D<sub>1</sub>種対応

#### ショウゼット<sup>®</sup> NCY(T)-D工法

工程	使用材料	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	施工方法	硬化後設計厚さ
素地調整※	ショウゼット <sup>®</sup> SA-T	1.0	金コテ等	—
中塗り	ショウゼット <sup>®</sup> NCY	0.6	金コテ等	1.3mm以上
中塗り	ショウゼット <sup>®</sup> NCY	0.6	金コテ等	
中塗り	ショウゼット <sup>®</sup> NCY	0.6	金コテ等	
上塗り	ショウゼット <sup>®</sup> NCYトップコート	0.2	金コテ等	

※素地調整 エポキシエマルジョン系ポリマーセメントモルタル

(積層図)



# 使用材料

## [ショウゼット® ノンクロスT工法]

品名	荷姿	配合比(重量比)
ショウゼット® SA-T	主剤3kg 硬化剤3kg 粉体18kg	24kgセット (主剤):(硬化剤):(粉体) 1 : 1 : 6
ショウゼット® NC	主剤12kg 硬化剤4kg	16kgセット (主剤):(硬化剤) 3 : 1
ショウゼット® NCTトップコート	主剤12kg 硬化剤4kg	16kgセット (主剤):(硬化剤) 3 : 1

## [ショウゼット® NCY(T)工法]

品名	荷姿	配合比(重量比)
ショウゼット® SA-T	主剤3kg 硬化剤3kg 粉体18kg	24kgセット (主剤):(硬化剤):(粉体) 1 : 1 : 6
ショウゼット® NCY	主剤12kg 硬化剤3kg	15kgセット (主剤):(硬化剤) 4 : 1
ショウゼット® NCYトップコート	主剤12kg 硬化剤3kg	15kgセット (主剤):(硬化剤) 4 : 1

## 注意事項

### [ショウクイック]

#### 〈施工上の注意〉

- 気温が5℃以下の時は施工を中止するか、適当な保温、採暖を行ってください。
- 施工中及び施工後、硬化前に降雨、降雪の恐れのある場合は施工を中止してください。
- 現場にて砂、セメント等を追加混入することは絶対に避けてください。
- セメント製品に特有の現象である白華(エフロ)が発生することがありますが、品質に異常はありません。

#### 〈使用上の注意〉

- 取扱い時は、必ず保護具(保護手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用してください。
- 取扱いは換気の良い場所にて行ってください。
- 取扱い後はうがい及び手洗いを充分に行ってください。
- 取扱い後の器具類は早めに水洗いしてください。

#### 〈応急処置〉

- 目に入った場合: 直ちに多量の水で15分以上水洗し、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合: 直ちに水で良く洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 誤飲した場合: 多量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。

#### 〈保管上の注意〉

- 粉体
- 雨露のかからない湿気の少ないところに保管し、地面に直接放置しないでください。
- ご購入された製品は製造から4ヶ月以内にご使用ください。
- [ARプライマー]
- 凍結や直射日光を避ける為に必ず室内(5~40℃)に保管してください。
- 開封後の使用残は密封した状態で保管してください。

#### 〈輸送上の注意〉

- 粉体、ARプライマーとも内容物の漏れが無い事を確認し、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。
- 湿気、水漏れに注意してください。

#### 〈廃棄上の注意〉

- 都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

#### 〈漏出時の注意〉

- 飛散した粉体は掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などに回収してください。
- 流出したARプライマーは流路を毛布、土壌等を用いてせき止め、バキューム等で吸い上げるか、少量の場合はおが屑、ウエス、乾燥砂等に吸収させて回収し焼却してください。
- 粉体が混合した排水は中和、希釈処理などを行い、河川等に直接流出しないようにしてください。

#### 〈環境への配慮〉

- 混和液が海、河川、湖沼、池、下水道、公共用水域へ流出すると、広範囲にわたって汚濁汚染することとなるので、絶対に破棄したり誤って流入させないでください。万一が流入した場合は地方自治体の担当者に直ちに連絡してください。
- また、地下水を汚染するおそれのある地中には捨てないでください。

その他の各製品の取り扱いについては別途SDSをご参照ください。

## [ショウゼット® ノンクロスT / ショウゼット® NCY(T)]

#### 〈施工上の注意〉

- ① 下地の表面含水率は5%※以下であることを確認してください(ショウゼット® NC、NCTトップコート、SA-EP)  
※コンクリート、モルタル用高周波静電容量式水分計HI-500、HI-520(ケット科学研究所)、もしくはそれに準ずるものの数値。
- ② 気温が5℃以下、35℃以上、湿度が85%以上の場合は作業を中止するか、環境改善処置を行った上で施工してください。
- ③ 攪拌混合不良になると硬化不良の原因になりますので、攪拌には十分注意してください。
- ④ 温度及び湿度が高い程、配合量が多い程、可使用時間は短くなります。
- ⑤ 施工については各工法の標準施工要領書をご参照ください。

#### 〈応急処置〉

- ① 吸入した場合  
大量に吸入した場合は被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、毛布等で保温して安静に保つ。必要に応じ医師の処置を受けてください。
- ② 皮膚に付着した場合  
汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ、触れた部分を最初にアルコールやアセトン等の溶剤を濡した布で良く拭いてください。  
その後水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹸を用いて良く洗い落とすしてください。  
皮膚に炎症が生じた場合は速やかに医師の処置を受けてください。
- ③ 目に入った場合  
清浄な水で最低15分間水洗した後、ただちに眼科医の処置を受けてください。洗眼の際、液を指で良く開いて、顔、眼珠の隅々まで水が良くいきわたるように洗ってください。
- ④ 飲み込んだ場合  
すぐに医師の処置を受けてください。もし被災者が意識不明や痙攣を起こしている場合には、口から何も与えてないでください。

#### 〈火災時の措置〉

- ① 初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火器や乾燥砂を用いてください。大規模火災の際は、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効です。消火作業は風上から行い、必ず保護具を着用してください。

#### 〈漏出時の措置〉

- ① 少量の場合  
布や砂などに吸収させて容器に回収してください。
- ② 大量の場合  
土砂等で堰を作って流出の防止を図ると共に、火源を断ち消火用機材等を準備し、火災発生防止に努めてください。  
保護具を着用して漏出液を可能な限り容器に回収してください。  
残った液は土砂、布等で拭き取り容器に回収してください。河川、下水、排水路等に流さないでください。

#### 〈取扱い及び保管上の注意〉

- ① 取扱い  
火気、衝撃火花などによる着火源を生じないようにしてください。  
取扱い作業は局所又は全体排気設備のある場所で行ってください。  
保護具(保護眼鏡、保護マスク、保護手袋等)を着用してください。  
容器を転倒させ、落下させる、衝撃を加える等の乱暴な取扱いを行わないでください。取扱い後は手洗い、うがいを十分行ってください。
- ② 保管  
火気厳禁にしてください。火気、衝撃火花などによる着火源により、火災の原因となります。  
容器に漏れないことを確認し、密閉してください。  
直射日光、水分の混入、高温物の近くを避け一定の保管場所を決めて保管してください。  
使用時以外は必ず適法な施設内に保管してください。  
倉庫以外に保管する場合は必ず子供の手の届かない所定場所に保管してください。

#### 〈廃棄上の注意〉

- 廃棄する場合は、専門の産業廃棄物取り扱い業者に依頼して処理を行ってください。

#### 〈輸送上の注意〉

- ① 包装容器が破損しないように積載し、荷崩れの防止を確実に行ってください。
- ② 直射日光、水分の混入、高温物の近くを避けてください。
- ③ 消防法、道路運送車両法、船舶安全法、港則法を厳守してください。

このカタログの記載内容は'21.9月現在のものです。製品改良のためにことわりなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。

カタログに記載の数値は標準値であり、保証値ではありません。安全上の注意事項の詳細については別途、安全データシート(SDS)をご参照ください。

## 昭和電工建材株式会社

### ■本社・建設資材営業部

〒221-8517  
横浜市神奈川区恵比須町8番地  
TEL(045)444-1691  
FAX(045)444-1699  
[https://www.sdk-k.com/dobokuzai\\_kp/](https://www.sdk-k.com/dobokuzai_kp/)

■仙台営業所	〒983-0841	仙台市宮城野区原町3-7-14	TEL(022)742-5077	FAX(022)291-1911
■名古屋営業所	〒460-0008	名古屋市中区栄3-11-23	TEL(052)249-3151	FAX(052)249-3152
■大阪営業所	〒532-0011	大阪市淀川区西中島6-5-3	TEL(06)6100-2202	FAX(06)6100-1232
■福岡営業所	〒810-0001	福岡市中央区天神4-1-1	TEL(092)737-5061	FAX(092)737-5062
■関東SCMセンター	〒120-0024	足立区千住関屋町1-4	TEL(03)3881-5001	FAX(03)3870-3952
■東北SCMセンター	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町1-7-2	TEL(022)231-2070	FAX(022)231-2073
■中部SCMセンター	〒452-0837	名古屋市中区西区方町172	TEL(052)501-2421	FAX(052)501-2424
■関西SCMセンター	〒567-0058	茨木市西豊川町14-3	TEL(072)641-6399	FAX(072)641-6401

■ISO 9001 品質マネジメントシステム登録事業所